

奉る音

—ギター・編鐘と篠笛・箏が奏でる祈りのコンサート—

日時：2019年7月27日（土）16:00～17:00

会場：福島県立博物館 エントランスホール **申込不要／参加費無料**

出演：小馬崎達也 & パンゲア

小馬崎達也（桐ギター、久乗編鐘）

仲林利恵（篠笛、能管、箏、十三弦、十八弦）

演奏予定曲（一部）：

1. 草の海を吹き抜けて - Wind rippling the sea of grass
2. 宝相華の香 - 阿弥陀如来 The scent of HOUSOUGE - Amitābha
3. 未生の岸边 - 観世音菩薩 In the MISYOU shore - Guanyin
4. 東方への旅立ち - Journey to the Orient



小馬崎達也 / Tatsuya Koumazaki ギタリスト・久乗編鐘奏者・作曲家

自然の持つエネルギー感や、世界各地の民族音楽研究の成果を反映した楽曲を創作。西洋弦楽、日本伝統楽器、アジア伝統楽器、仏教音楽（天台寺門聲明、真言聲明、天台聲明、浄土聲明）、アンデス民謡、バリ民族音楽、中近東音楽、舞踏などと共演多数。自分の中から生まれた音、これまでに培った西洋の音、新たに体験した民族の音、そして自然との融合の音を目指している。



仲林利恵 / Rie Nakabayashi 篠笛・能管・箏奏者

幼少の頃より母・仲林光子から篠笛と箏の手ほどきを受ける。篠笛と能管を鳳声晴由氏、箏を小笠原節氏、神田囃子を小林一奏氏、葛西囃子を矢作伸二氏にそれぞれ師事。様々な分野の演奏家と共演している。2000年から小馬崎達也 & PANGAEA<パンゲア>のメンバーとして国内外のツアーに多数参加。祖母である鈴木いね子が創立した箏曲七声楽院の3代目として後進の指導と演奏活動も行っている。

主催：興福寺と会津展実行委員会

福島復興祈念展

興福寺と会津～徳一がつかないだ西と東

会期：2019年7月6日（土）～8月18日（日）

※会期中展示替えを行います。

前期：7月6日（土）～7月28日（日）後期：7月30日（火）～8月18日（日）

※7月8日（月）・16日（火）・22日（月）・29日（月）・8月5日（月）は休館

会場：福島県立博物館

観覧時間：9:30～17:00（入場は16:30）

観覧料：一般・大学生 1300円（1000円）、高校生 800円（640円）

中学生以下無料 ※（ ）は20名以上の団体および前売り料金

主催：興福寺と会津展実行委員会

アクセス

■会津若松駅から約3km

タクシーで約10分

■会津若松駅から

*まちなか周遊バス

「ハイカラさん」で約20分

（鶴ヶ城三の丸口下車すぐ）

*まちなか周遊バス

「あかべえ」で約30分

（鶴ヶ城三の丸口下車すぐ）

